

自動車は燃えやすい！

火災概要

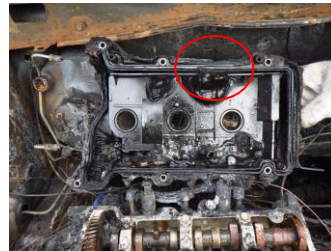
走行中の車両エンジンルーム内から出火した車両火災で、運転手が発見し車両を路肩に止め消防へ通報しています。

原因概要

調べるとエンジン上部からオイルが漏れているのを発見。漏れているところを詳細に確認すると、エンジン上部にあるパッキンが傷み、その付近からオイルが漏れていることがわかりました。また、その付近には排気管がありました。そのことから、漏れだしたエンジンオイルが熱くなった排気管に触れたため、出火したものと推定しました。



エンジンルームが焼損



オイル漏れの場所



オイル漏れ実験画像

自動車は可燃物の固まりです。走行風などの条件が整った状況で、ひとたび炎が発生すると、炎は一瞬で拡大していきます。

今回のような火災を起こさないためには、車の所有者・使用者が日頃から車をきちんと整備し、安全に使用できるように管理することが大切です。もしも、高速道路やトンネル・上り坂で車が突然、故障し燃えだしたりしたら、どれだけの人に影響を与えてしまうかなどを想像してください。

(類似火災の防止)

- ① 道路運送車両法第 47 条の 2 に書かれている事項を厳守する。
- ② とくに高年式・多走行の車両は点検を入念に実施してください。
- ③ 異常を確認したときは、使用をやめ修理を行ってください。